

土壤改良材「肥え土」について

「肥え土」は川越市内の公園などで排出された剪定枝を「草木類資源化施設」で破碎処理して、約6ヶ月間かけて水分のみで発酵・熟成させたものです。

<注意>

- ・窒素、りん酸、加里といった肥料成分は殆んど含まれていません。
- ・プランターなどで「肥え土」のみでの使用は栄養分が欠乏し、作物が育ちません。
- ・堆肥として使用する場合は植物に応じて必要な肥料を加え、野積み等で完熟させてから使用してください。熟していく過程では、微生物の働きによって「熱」が発生します。土に混ぜてすぐ植えると、植物の根を発酵熱で傷めてしまうことがあります。
- ・ビニール袋等に入れた「肥え土」は早めに出すようにしてください。多湿になりますとカビ等の発生や腐敗が進む可能性があります。
- ・季節によって見た目や重量（水分含有量）が多少変化する場合があります。

<使用例>

①土壤改良材として使用する

土壤の軟化、保水性などの改善が期待できます。植込みの数週間前に、土を耕して混ぜてください。（全体量の2割程度以内で使用）

（例）畑へまく場合は、100平方メートル（1畝）当たり300kg以内

肥料成分は含まれていないので、植物に応じて必要な肥料を別に加えてください。

（裏面へ）

②堆肥の原料として使用する

水分のみで発酵させたものです。植物に応じて必要な肥料を加え、野積み等で完熟させてから使用してください。

(加える肥料の例)

鶏ふん、米ぬか、牛ふん、落葉、化学肥料、石灰、油かす、化成肥料、野菜くず、もみ殻、わら、ぼかし、魚粉など

(平成28年8月～平成29年3月実施、頒布者アンケート結果より)

(注意)「肥え土」は完熟製品ではありませんので、元肥のように固めて使用すると二次発酵が起こり、植物の根を発酵熱で枯らす恐れがあります。

※肥料と異なる点は、肥料が作物に栄養を与えることを目的としていることに対し、土壌改良材「肥え土」は土の通気性や保水性を改善し、微生物を増やして土壌そのものを豊かにすることが目的です。

※植物が育つためにはいろいろな栄養素がありますが、特に「窒素、りん酸、加里」が重要となります。野菜をより美味しく、花をより美しくするために、それぞれに必要な栄養素を加え上手に「肥え土」を使用してみてください。

<申込方法>

① 電子申請 ②つばさ館内「申込用紙」 ③ハガキ郵送のいずれかとなります。

[記入事項]

①頒布希望日(1日のみ記入)

②希望頒布量(大口:300kgのみ 小口:150kgまで)


③運搬車両の種類(大口:トラック、軽トラック 小口:乗用車、軽乗用車)

④郵便番号、住所 ⑤氏名 ⑥電話番号

※但し、申込は1世帯1枚。1月毎に1枚。①～⑥の記入の無いものは無効となります。

頒布日程、申込期限、量の目安など詳しくは、つばさ館の申込書記載台または川越市ホームページで確認できます。

<お申込み・お問い合わせ>

 350-0815 川越市鯨井782-3
つばさ館 電話239-5053